

農政時流

第 36 号

平成27年 1月 1日発行

宮 城 県 農 業 会 議

仙台市青葉区堤通雨宮町4・17

T E L / 022 - 275 - 9164

E-MAIL / 04miyagi@nca.or.jp

- | | |
|--|---|
| 1面：年頭のごあいさつ | 4面：東北・北海道ブロック女性農業委員研修会 |
| 2面：宮城県農業会議設立60周年記念式典並びに
第58回宮城県農業委員大会 ～盛大に挙行～ | 5面：農地中間管理事業の取組みと課題
：平成26年度農地転用諮問結果（中間） |
| 3面：宮城県農業会議設立60周年記念式典並びに
第58回宮城県農業委員大会受賞者 | 6面：かけはし「がんばる農業委員」
：お知らせ（平成26年度定例行事の開催日程ほか） |
| 4面：第2回農業経営確立セミナー開催 | |

年頭のごあいさつ

宮城県農業会議 会長 中 村 功



新年を迎え、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年の干支は「ひつじ」。この語源には安泰、平和を表す意味があるといわれております。どうかこの一年、日本はもちろん世界中が、平穏無事で良い年となるよう願うものであります。

併せて、東日本大震災で被災した皆さまの“地域再生”がいち早く成し遂げられんことを心から祈念いたします。

さて、「アベノミクス解散」といわれ、異例の短期決戦となった第47回衆議院議員総選挙も終了し、与党（自民党と公明党）が絶対安定多数といわれる266議席を大きく上回る326議席を獲得し、圧勝いたしました。こうした結果を踏まえ、政府与党にあっては、これまで掲げてきた政策を続行するとともに、その実行力に弾みがつくものと思われま。

農業分野においては、喫緊の課題であるTPP交渉や組織・制度改革が断行されることが予想されます。既に、新聞情報では、「今年はTPP交渉が大きく動き出す年」との報道もあり、我々としてもその動向を注視しながら、重要5品目確保の国会決議を踏まえ、国益を最優先とする農業交渉を行うよう、引き続き政府・国会に対し強く要請していく必要があります。

また、農業委員会改革につきましても、過般11月19日に開催しました「第58回宮城県農業委員大会」において決議された、農業委員の「代表制の確保」をはじめ、法定化されている「意見の公表・建議」等の機能維持、更には農業委員会組織の「系統性確保」等についても、強く訴えていく必要があります。

本会といたしましては、こうした課題をしっかりと受け止め、組織をあげて取り組んで参りますので、農業委員の皆様をはじめ関係者の方々には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、年頭のあいさつといたします。



～第58回宮城県農業委員大会で決議されたスローガン～

宮城県農業会議設立60周年記念式典並びに 第58回宮城県農業委員大会 盛大に挙行



～記念式典で挨拶する中村会長～

過般、11月19日（水）に大和町「まほろばホール」において、「宮城県農業会議設立60周年記念式典」を開催いたしました。

宮城県農業会議は、昭和29年8月8日の設立総会を経て、同年9月1日に宮城県知事（当時：宮城音五郎知事）の認可を受け、発足してから今年で60年を迎えました。

前身は、宮城県農業委員会で、昭和26年に制定された「農業委員会法」に基づき、県段階に独立した行政機関として設置されました。その後、農業委員会組織を農業及び農業者の利益代表機関として強化するため、昭和29年に『農業委員会法』の一部改正（「農業委員会等に関する法律」に名称変更）が行われ、これまでの都道府県毎の「農業委員会」を廃止し、新たに「農業会議」が設置されました。同時に、全国段階には「全国農業会議所」も設立され、今日の農業委員会系統組織が誕生いたしました。

記念式典は、これまでも節目々で開催して参りましたが、今回は特に記念すべき60周年ということもあり、県内各所から農業委員および関係者など総勢730名の参加を頂き、盛大に開催することができました。式典では、はじめに本会中村会長から挨拶があり、次に宮城県知事（代理：吉田農林水産部長）、安藤俊威宮城県議会議長等、来賓の皆様からのご祝辞をいただいたあと、本会会議員や役員・監査委員などを永らく務められ、功績のあった方々に対し、知事感謝状等の表彰が行われました。

また、記念式典と同時に行われた第58回宮城県農業委員大会では、東北大学大学院農学研究科教授の伊藤房雄氏から『「みやぎの農業」の展望と課題』と題し、将来に向けて本県農業が取り組むべき方向性について記念講演を頂くとともに、議事として上程した4つの議案と大会宣言を採択し、無事終了することができました。

農業委員の皆さん、まことにご苦労様でした。



～講演する伊藤教授～

おめでとうございます

この度の宮城県農業会議設立60周年記念式典並びに第58回宮城県農業委員大会で下記の方々が受賞されましたのでお知らせします。

宮城県農業会議設立60周年記念式典受賞者

●宮城県知事感謝状

(宮城県農業会議常任議員として4期以上にわたり農政の推進に功績のあった方)

渡邊庄哉氏	七ヶ浜町
堀籠吉實氏	大衡村
佐竹榮一氏	涌谷町
門傳仁氏	栗原市
遠藤重幸氏	南三陸町

●全国農業会議所会長感謝状

(宮城県農業会議常任議員として3期以上にわたり農政の推進に功績のあった方)

大木れい子氏	仙台市
渡辺憲二氏	名取市
佐藤公夫氏	大和町
浅野衛氏	大和町
鈴木木悟氏	大崎市
阿部雅良氏	大崎市
兔原伸一氏	加美町
中村功氏	涌谷町
千葉幸雄氏	栗原市
芳賀よみ子氏	登米市
秋山耕氏	登米市

●宮城県農業会議会長表彰状

(宮城県農業会議常任議員として3期以上にわたり農政の推進に功績のあった方)

大松一男氏	川崎町
齋藤正直氏	山元町
堀籠勝恵氏	色麻町

第58回宮城県農業委員大会受賞者

●宮城県知事感謝状

(市町村農業委員として20年以上永年勤続をされた方)

関内秀樹氏	大衡村
佐藤修氏	石巻市

●宮城県農業会議会長表彰状

(市町村農業委員として15年以上永年勤続をされた方)

樋口祝郎氏	白石市
渡邊正彦氏	角田市
阿部和郎氏	角田市
我妻文雄氏	蔵王町
佐藤信一氏	蔵王町

■橋子美幸氏	七ヶ宿町
庄谷一源二氏	仙台市
廣遠藤源二氏	仙台市
佐々木均氏	仙台市
結城一吉氏	仙台市
佐藤藤勲氏	岩沼市
穴戸正繁氏	岩沼市
齋藤正直氏	山元町
早川節直男氏	松島町
佐藤藤照敏夫氏	七ヶ浜町
菅原菅原敏英雄氏	大和町
菅大友仁一氏	大和町
伊藤鈴木俊一氏	大郷町
鈴木木俊淳也氏	富谷町
鈴木野昭男氏	大衡村
今藤昭男氏	大崎市
伊藤藤勇悦氏	大崎市
遠藤友利悦明氏	大崎市
大遠藤要之助氏	加美町
大藤幸恵子氏	涌谷町
伊藤白鳥慎悦氏	涌谷町
佐竹榮一氏	美里町
小野大介氏	美里町
及川正弘氏	栗原市
佐々木貞雄氏	栗原市
菅原正新氏	栗原市
■橋長一郎氏	栗原市
安倍民夫氏	登米市
阿部國治氏	登米市
及川道男氏	石巻市
佐藤正明氏	東松島市
	女川町
	南三陸町
	南三陸町

(市町村農業委員会職員として10年以上永年勤続をされた方)

山下実氏	色麻町
櫻田克嘉氏	涌谷町

(農業委員会等に関する法律第6条第2項による情報提供活動の一環として「全国農業新聞」の普及拡大に功績のあった農業委員会)

加美町農業委員会



第2回農業経営確立セミナー開催

農業会議では、12/17, 18, 19日の3日間、県内3会場において「第2回農業経営確立セミナー」を開催しました。セミナーには約60名の参加があり、講師は第1回目に引き続き、中小企業診断士の本田 茂先生にお願いし、「来年に向けた我が家の農業経営改善について」をテーマに説明いただきました。先生からは、決算書をもとに品目毎、単位数毎（/10a、/俵、/パックなど）の原価を算出し、経営全体をシミュレーションすること。また、より正確な原価を把握するためには、反収、作業時間、販売先毎に数量・単価をきちんと管理すること。更に、原価算出の精度が上がることで「固定費<粗利益」となり、利益へとつながっていくことなどのお話がありました。そして「原価を把握し、家族全員が共



～本田先生の説明に熱心に耳を傾ける参加者～

通認識のもとで経営改善に取り組むことが大事。そのためにもコツコツと数字を記録してほしい」と、参加者に「記録」の習慣化を勧められました。また、白色から青色申告にすると税控除額が増えることや、老後の生活安定のためには農業者年金へ加入いただくことが重要であることの説明を頂き、閉会后には先生へ個別に相談する熱心な参加者もあり、経営改善への意欲が感じられました。

東北・北海道ブロック女性農業委員研修会

青森市男女共同参画プラザ「カダール」で11月28日に開催され、北海道、東北各県から約146名の農業委員等が参加しました。はじめに主催者を代表し、青森県女性農業委員の会の籠田悦子会長（八戸市農業委員会会長）から「第22回農業委員統

一選挙で全国的女性農業委員数は2,572名（改選前比124.9%）で、女性の登用が更に進み農業委員会活動の強化に繋げたい」との挨拶がありました。

全国農業会議所からの情勢報告の後、「女性農業委員登用促進運動への取り組みと成果」をテーマに、北海道苫小牧市農業委員会の丹羽秀則会長、岩手県女性農業委員ポラーノの会の松本良子会長（岩手町農業委員会会長）から活動報告がありました。統一選挙では、岩手県、栃木県、大分県において、全市町村で女性が選任されています。（本県においては30 / 35市町村。）また、農山村地域経済研究所所長の楠本雅弘氏から、持続可能な新世代型家族農業と社会的共同経営体としての集落営農法人についての記念講演がありました。



～全国農業会議所からの情勢報告～

農地中間管理事業の取組みと課題

〔宮城県農地中間管理機構〕
〔公社〕みやぎ農業振興公社

平成26年度から開始された農地中間管理事業は、農地の賃貸借を通じた農地の再配分により、農地の有効利用と農業経営の効率化を図るもので、当公社が「農地中間管理機構」として知事指定を受け、県・市町村・農業委員会等の連携・協力を得て進めて参りました。

具体的には、機構が農地を借受け（中間管理権の取得）、必要に応じて簡易な条件整備をし、担い手（認定農業者等）の集積に配慮して貸付け（中間管理権に基づく転貸）するもので、本年度は、27市町村・1市公社・12JAとの業務委託により実施して参りました。

受け手については、公募する仕組みで、これまで5回の募集を行い1月には6回目の募集を予定しておりますが、1,843経営体から延べ20,064haの希望があり一定の事業への理解が得られている状況と考えております。

一方、出し手については、随時受け付けしておりますが、12月末見込みでは当初の想定より少なく、受け手への結び付けは、約350haに止まっております。

これは、本事業の周知期間が充分とれなかったことや、事業の仕組みを模索しながらの推進であったこと等が要因と考えられます。

従いまして、今後、地域の農業・農地について深いご理解を頂いている農業委員の皆様のご協力を頂き、事業の活用に向け、出し手となる農地所有者、受け手となる担い手経営体への周知やマッチング等を進めて参りたいと考えておりますので、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



～JAみやぎ登米「農地中間管理事業」役職員研修会～

平成26年度農地転用諮問結果（中間）

農地転用の動き ～東日本大震災後は増加傾向～

農業会議では、毎月「常任会議員会議」を開催し、農地転用に関する知事等からの諮問に対し、意見を聴取しています。近年の諮問件数・面積は下表のとおりとなっており、年々増加傾向にあります。

その要因としては、東日本大震災後の住宅需要の増大や再生可能エネルギーの活用に向けた太陽光パネルの設置等があげられます。

農地法は、「優良農地の確保と利用」を目的としていますので、今後とも農地行政が適正に行われるよう審議して参ります。

農地転用の諮問件数・面積

年度	農地法第4条		農地法第5条		農振法第15条の2		合 計	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
H26	323	267,923	1,381	1,895,174	1	6,859	1,705	2,169,956
H25	473	401,445	1,916	2,469,594	1	162	2,390	2,871,201
H24	469	370,412	1,763	1,880,317	-	-	2,232	2,250,729
H23	413	430,004	1,333	1,296,547	-	-	1,746	1,726,551

H23～25年度は年間合計値。H26は4～12月（中間）の合計値である。

かけはし「がんばる農業委員」



栗原市農業委員 多田 仁一 委員 (49歳)

経営内容：水稲 20ha
就任回数：3期 (選挙3回)

今回は、栗原市金成・畑地区で水稲専業経営に取り組む多田仁一さんを紹介します。

畑地区は、沢沿いに集落が形成される典型的な中山間地域であり、多田さんはそこで自作地5畧と、そこから少し離れた圃場整備地区に利用権を設定し、受託している農地15畧、合わせて20畧に、ひとめぼれ、コシヒカリ、萌えみのりの三品種を栽培しています。「圃場条件や機械の効率的利用、労働配分を考えると、作業の分散が必須であり、早生から晩生まで品種を揃える必要がある」とし、その経営モットーは、「機械・施設への過剰投資を避け、家族労働を基本に生産コストを低減すること」と熱く語ってくれました。

こうした多田さんは現在3期目の農業委員であり、若柳、金成、志波姫地区をエリアとする「農地第2部会」の職務代理者として、農地の利用集積に係る相談や農地パトロールなどに積極的に取り組んでいる。農業委員会事務局との連携も良く、「円滑な農地行政が推進できている」と話す。

一方、農業委員会改革による公選制の廃止や農地利用最適化推進委員の設置に対しては、「農業委員は地域に根ざした人の中から選ばれるのが一番。最適化推進委員についても数だけ集めてもどうなるのか？」との疑問を呈す。そして、「我々農業委員は地域のパイプ役。農家さんとの“つなぎ役”として地域のために頑張りたい」と話してくれました。

誠実で明るい性格、何ごとにも積極果敢にチャレンジする行動力は、農業者の信頼も厚く、そこには地域の農家と農業のために汗を流す農業委員の姿が強く感じられました。

※お知らせ※

「くりはらし農業委員会だより」が優秀賞！

平成26年度農業委員会だよりコンクール審査会が12月18日に開催され、応募のあった8農業委員会の中から「くりはらし農業委員会だより」が優秀賞を受賞いたしました。

評価のポイントとして、農業委員会の活動がわかりやすく紹介されており、特に、農業委員が一丸となって耕作放棄地対策に取り組んでいる活動などは「委員会からのメッセージがよく伝わっている」との声が多く出ました。

また、優良賞には、「農の広場」登米市農業委員会だより、仙台市農業委員会だより、みさと農業委員会だよりが入賞いたしました。受賞された農業委員会の皆様、まことにおめでとうございます。

2015農山漁村パートナーシップ推進 宮城県大会

農山漁村の男女共同参画を進めるため、県等との共催により以下のとおり開催いたします。みやぎアグリレディス21からは、昨年度、農林水産大臣賞を受賞された大崎市農業委員会の女性農業委員の活動を事例発表いたします。また、男女パートナーシップの意識啓発のため、男性の参加を広く呼び掛けています。お誘い合せの上ご参加ください!!

◇日 時
平成27年2月4日(水) 12:30 開会

◇場 所
東北大学 川内萩ホール

◇基調講演
「地方の再建は農山漁村の活性化から！」
(有)ぶどうばたけ 取締役 三森かおり氏

平成26年度定例行事の開催日程

行事名	常任会議員 会 議	農業者年金 相 談	若 年 者 就農相談会	定 例 就農相談会
場 所	仙 台 市 ホテル白萩	仙 台 市 JAビル7階 「ロッヂデール ル - ム」	仙 台 市 マークワンビル 12階 「みやぎ ジョブカフェ」	仙 台 市 県仙台合同庁舎 2階 201会議室
開催時間	13:30~	13:30 ~ 16:00	10:00 ~ 18:30	13:00 ~ 16:00
平成27年 1月	19日 (月)	13日 (火)	8日 (木)	20日 (火)
2月	18日 (水)	-	12日 (木)	17日 (火)
3月	18日 (水)	10日 (火)	12日 (木)	17日 (火)